



50 ANNIVERSARY

昼神温泉出湯50周年記念

2023

令和5年11月



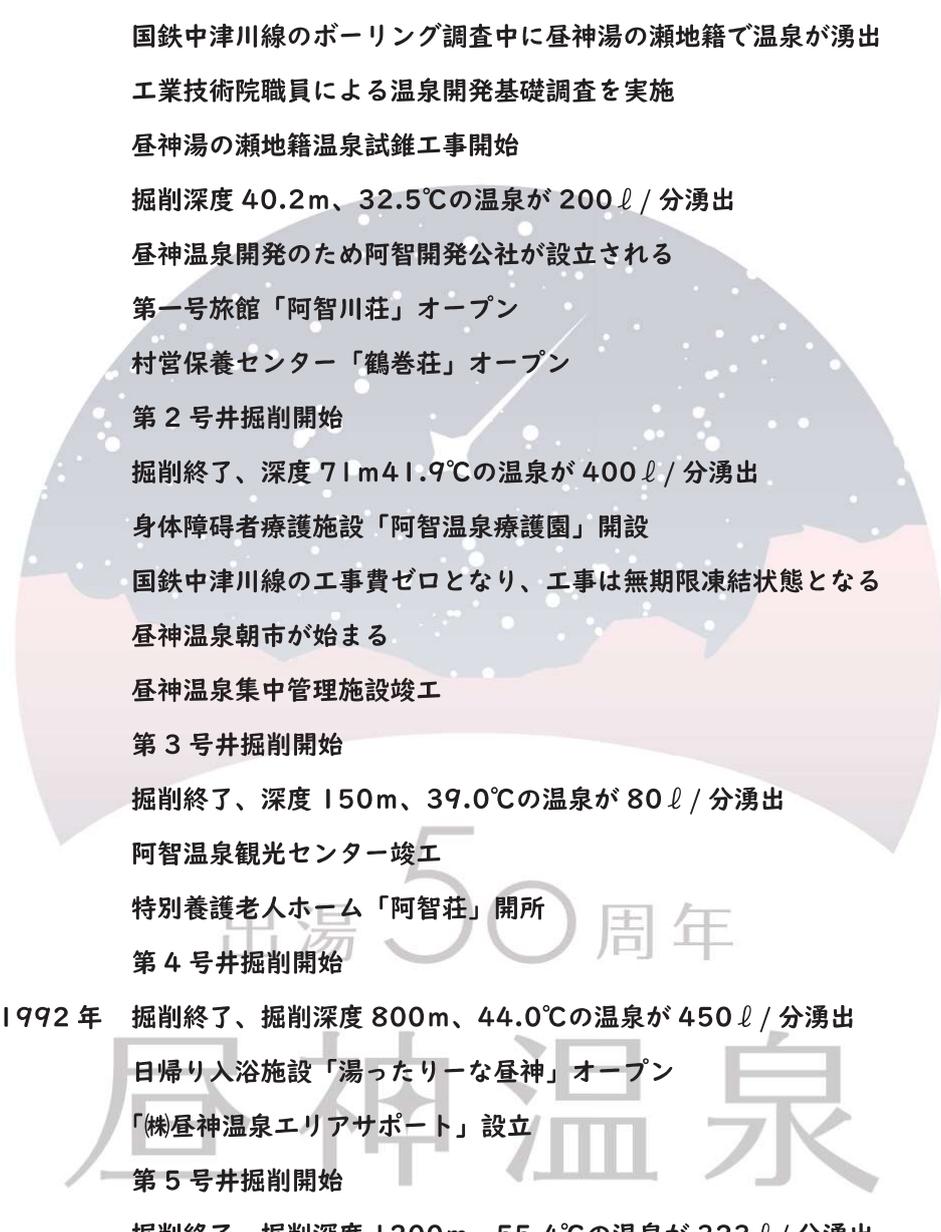
1973

長野県下伊那郡阿智村

ACHI Village NAGANO

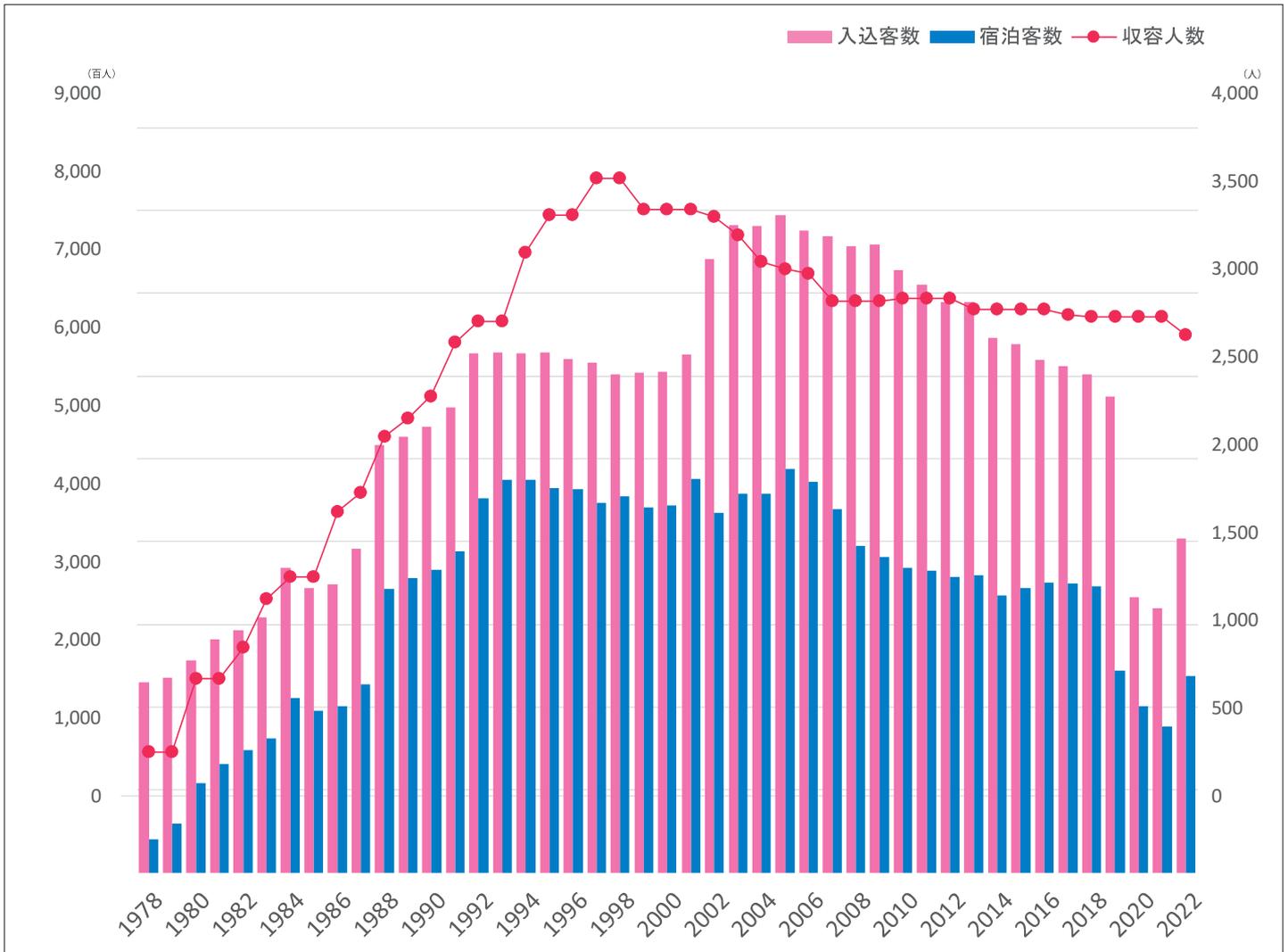
昼神温泉出湯50周年事業実行委員会

昼神温泉の 50 年の歩み

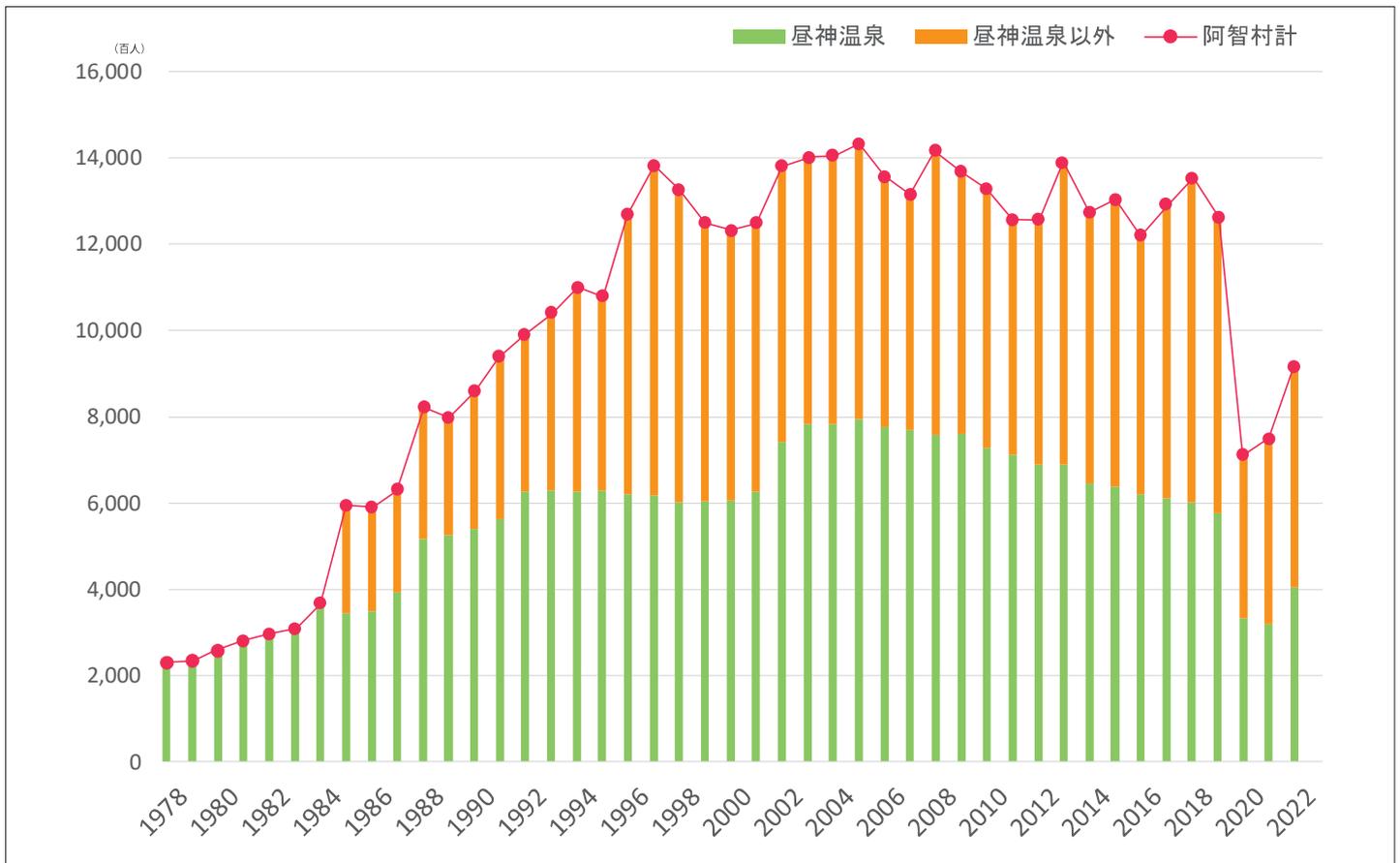


1957年	国鉄中津川線が調査となる
1962年	国鉄中津川線が工事線に格上げされる
1969年	国鉄中津川線、昼神湯の瀬地籍の用地買収調印が行われる
1972年	国鉄中津川線神坂トンネルの試掘に着手
1973年	国鉄中津川線のボーリング調査中に昼神湯の瀬地籍で温泉が湧出
1973年	工業技術院職員による温泉開発基礎調査を実施
1973年	昼神湯の瀬地籍温泉試錐工事開始
1973年	掘削深度 40.2m、32.5℃の温泉が 200ℓ / 分湧出
1975年	昼神温泉開発のため阿智開発公社が設立される
1975年	第一号旅館「阿智川荘」オープン
1976年	村営保養センター「鶴巻荘」オープン
1977年	第2号井掘削開始
1977年	掘削終了、深度 71m 41.9℃の温泉が 400ℓ / 分湧出
1979年	身体障害者療護施設「阿智温泉療護園」開設
1980年	国鉄中津川線の工事費ゼロとなり、工事は無期限凍結状態となる
1981年	昼神温泉朝市が始まる
1981年	昼神温泉集中管理施設竣工
1986年	第3号井掘削開始
1986年	掘削終了、深度 150m、39.0℃の温泉が 80ℓ / 分湧出
1988年	阿智温泉観光センター竣工
1988年	特別養護老人ホーム「阿智荘」開所
1991年	第4号井掘削開始
1991年～1992年	掘削終了、掘削深度 800m、44.0℃の温泉が 450ℓ / 分湧出
2001年	日帰り入浴施設「湯ったりな昼神」オープン
2006年	「㈱昼神温泉エリアサポート」設立
2007年	第5号井掘削開始
2007年	掘削終了、掘削深度 1200m、55.4℃の温泉が 323ℓ / 分湧出
2007年	足湯「あひるの湯」完成
2009年	足湯「ふれあいの湯」完成
2012年	「スタービレッジ阿智誘客促進協議会」設立
2012年	「天空の楽園日本一の星空ナイトツアー」開始
2013年	昼神温泉出湯 40 周年
2016年	「株式会社阿智昼神観光局」設立
2020年	新型コロナウイルス感染症世界的な流行により観光客激減
2021年	「天空の楽園日本一の星空ナイトツアー」10 周年
2023年	昼神温泉出湯 50 周年

昼神温泉の入込客数と収容人数



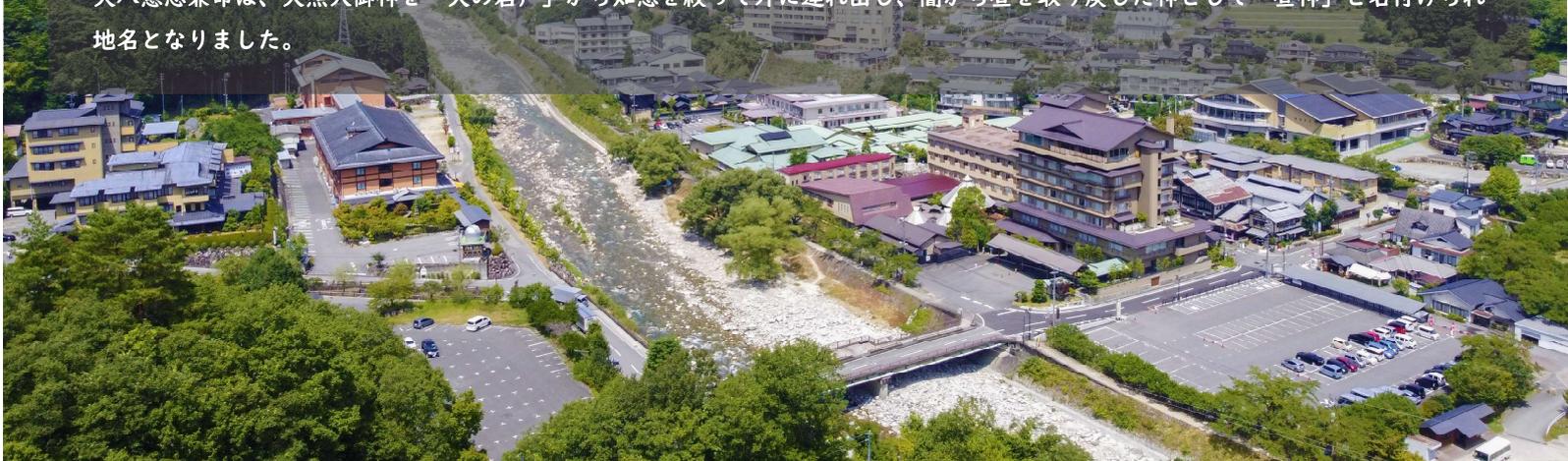
阿智村観光客数



昼神温泉とは

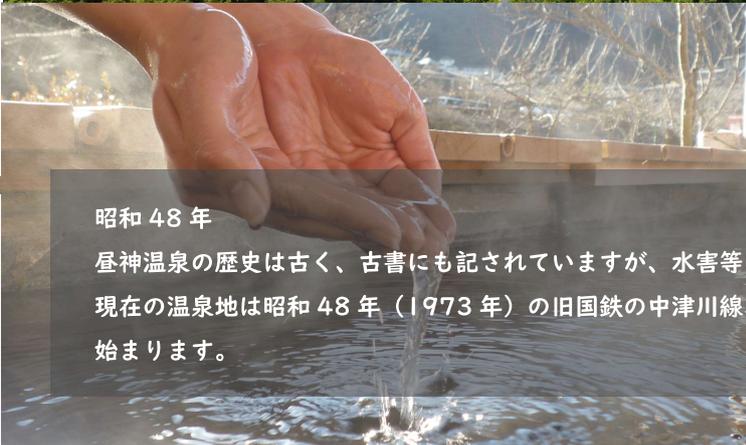
地名の由来

日本神話の中で、知恵の神として登場する「天八意思兼命（あめのやごころおもいかねのみこと）」は、この昼神の地の出身です。天八意思兼命は、天照大御神を「天の岩戸」から知恵を絞って外に連れ出し、闇から昼を取り戻した神として「昼神」と名付けられ地名となりました。



昭和48年

昼神温泉の歴史は古く、古書にも記されていますが、水害等により埋もれてしまっていました。現在の温泉地は昭和48年（1973年）の旧国鉄の中津川線ボーリング調査中に温泉が湧き出したことから始まります。



昭和48年12月5日
牛山忠人氏撮影

現在

昼神温泉は阿知川の清流をはさむように大小の温泉宿やホテルが軒を連ねています。pH9.7という強アルカリ性の温泉で、アルカリ性泉質がお肌の古い角質をとり、スベスベ滑らかにするといわれているため、「美人の湯」と呼ばれます。



昭和56年6月13日 中日新聞

伊那谷の山里 繁盛記



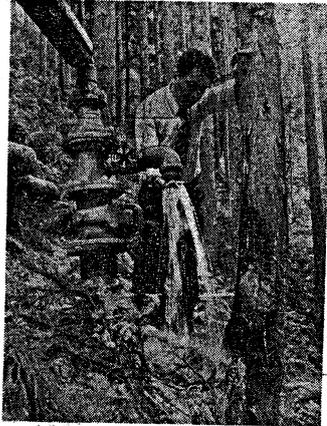
のどかな風景

星湖湖を「マナタ」に
「お湯」を「お湯」に
中央自動車道北へは
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に



降ってわいた温泉郷

伊那谷の山里 繁盛記



バルブを開くと豊富な湯が噴き出す
—阿智村湯の泉源地で

温泉を中心とする山間の繁盛地
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に

温泉は、お湯を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に

過疎一変 村人ホクホク



上さげんの黒柳村長

国鉄サンが恩人!

新線建設の調査中に
突然、湯が噴き出て...

温泉を中心とする山間の繁盛地
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に

アサヒ 特報

温泉を中心とする山間の繁盛地
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に

温泉を中心とする山間の繁盛地
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に
「お湯」を「お湯」に

昼神温泉温泉の施設

現在は2号井から5号井、2号温泉の5つの井戸から温泉を汲み上げています。

4号井

5号井

お湯を送るポンプ

2つの汲み上げた温泉を一時的に貯めています。

昼神の朝市

1981年（昭和56年）からはじまった昼神朝市。今では365日開催し、名物の一つになっています。

1990年頃



2000年頃



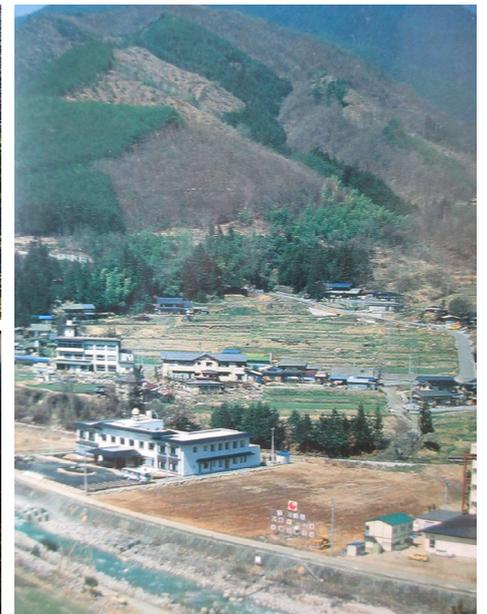
現在

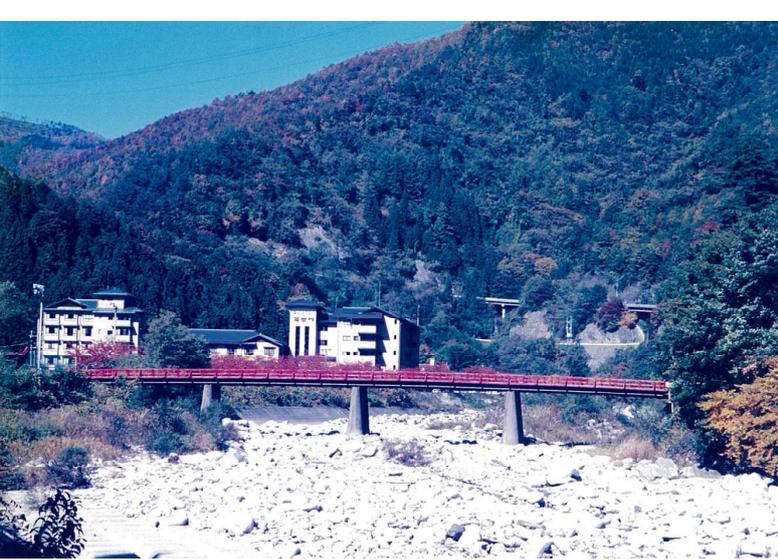


写真で振り返る昼神温泉



撮影者：佐々木賢実





1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----





阿智村内小学生作文

テーマ「50年後の昼神温泉」

- ・ 阿智第一小学校 6年 牛山 由宇 「私が願う五十年後の未来」
- ・ 阿智第二小学校 4年 園原 志織 「湧き出る活気を阿智村に」
- ・ 阿智第三小学校 6年 下原 妃茉莉 「五十年後の昼神温泉」
- ・ 浪合小学校 6年 鈴山 真外 「50年後の昼神温泉」
- ・ 清内路小学校 4年 高見 柚葵 「大好きな昼神温泉」



私が願う五十年後の未来

阿智第一小学校6年 牛山 由宇

私は、五十年後は、もっと観光客が増えているといいと思います。なぜなら新型コロナウイルスが流行して観光客が減少したことを知ったからです。そのためには、おじいさん、おばあさんから小さな子どもまで楽しめるような温泉になるといいなと思います。そんな昼神温泉にするためには、来やすい、使いやすい、リピートしたいと思えるような昼神温泉になるといいと思います。来やすい温泉地になるためには、交通がもっと便利になるといいと思います。リニア新幹線が開通していると思うので、リニアの駅から直行で昼神温泉にこられるようになったらいいなと思います。リニアを使って来てくれる方には、リニア用のわり引があるといいと思います。次に、使いやすい温泉地になるためには、小さいお子さん連れ、高れい者、障がいがある方たちでも温泉地を楽しめるようなユニバーサルデザイン化が進めばいいと思います。例えば、予約するときに温泉のんびりコースや、星をながめられるコースなどいろんなモデルコースを、VRであらかじめ体験できると行く前にイメージしやすくて、使いやすいと思います。最後のリピートしたいと思う温泉地にするためには、観光クーポンや年間パスポートなどのサービスがあるといいと思います。

他にはないあち村の自然や人とのふれあい、食べものなどを体験できる特別感を感じられるような所になってほしいです。

私は、昼神によく行きます。あみかけ山や川辺など季節の色を感じられる自然がある所に温泉があるっていいと思います。この自然の景色を五十年後も見たいし守られていくことを願っています。



湧き出る活気を阿智村に

阿智第二小学校4年 園原 志織

私が今まで昼神で経験してきた事は、いっぱいあります。1つ目は、0才の時からスイミングを、してきたという事です。お母さんとベビースイミングを、0歳の時にしたので、今ではスイミングが好きになりました。水泳終わりに温泉に入るのも、1つの楽しみです。2つ目は、五平もち、おやきなどのごはんも、おいしい事です。小さいころからひいおじいちゃんが買って来てくれたり、お祭りなどでよく食べていました。3つ目は「湯めぐりクーポン券」で、昼神の色々な温泉に、入ってきました。どの温泉もとても、良かったです。

これからの時代、昼神温泉にどうなってほしいかは、2つあります。1つ目は飯田市に、リニア新幹線が通ることによって東京などの都会の人や、外国人観光客などの方々が、多く来られるように、なると思います。なので、私の好きな昼神や、阿智村を楽しんでほしいなど、思います。観光客の方々の中には、体の不自由な方もいると思います。そんな方々にもよりそえる設備例えば、車いすのスロープや、見やすいデザインの表示などがある建物、よりそえるやさしい人たちがいてほしいなど、私は思います。2つ目は今の時代、AI、ロボットなどの最新機能がある中でも、今みたいな人のぬくもりあふれるやさしい昼神や、阿智村を多くの人に楽しんでもらいたいと、思っています。

私は若い人が親しみやすく、楽しくすごせて活気のある阿智村になってほしいなど、私は思います。11月26日には、昼神出湯50周年記念の駅伝大会があります。クラスや、5年生のお友達と、チームを組みました。名前は、「ファイヤーバード」です。私は出場2回目でもっとも楽しみです。スポーツの力を通して、イベントができる昼神温泉であってほしいです。何十年たっても、活気のある阿智村であってほしいです。



五十年後の昼神温泉

阿智第三小学校 6年 下原 妃茉莉

私は五十年後の昼神温泉は今よりもっと人気が出て、お客さんも増えると思います。人気になると思う理由は、歴史が百年もあり、空を見上げると星がきれいで、春になると花桃や桜を見たり、年中いつでも温泉に入ったり泊まったりできるからです。

ですが、旅館や温泉に入るための建物が少なくなるのではないかと心配にもなります。理由は働く人が少なくなつてつぶれてしまったり、そもそも温泉が人気じゃなくなったりする可能性もあるからです。そうならないために、若い人が働いたり温泉を広めて人気が出るようなことをしたりすれば、五十年後も昼神温泉にたくさんお客さんが来てくれると思います。

他に人気になりそうなアイデアは、ここだけしか食べられない食べ物、星をモチーフにした温泉まんじゅう、こんぺいとう、花桃のあめ、阿智村の特徴や魅力、面白いものがあつたらいいと思います。他に子供と大人が楽しめるイベント、アトラクション、飲食店、名産物、きれいな景色が見られる展望台があつたらいいと思いました。

また、昼神温泉の歴史を若い人達も知つたほうがいいと思います。授業で昼神温泉の歴史を聞かれたときに、私は何も答えられませんでした。そこで昼神温泉の歴史に詳しい人に聞きました。初めて知つたことが多く、「そんなことがあつたんだ」とおどろきました。もっと詳しく聞いてみると、温泉ができた理由を教えてくださいました。それは昔の昼神は貧しくて、お金を貯めるために温泉をほってそれを商売にしてお金を稼いだらしいです。昼神の歴史を教えてくださいました人は、「だんだん歴史を知っている人がいなくなってしまうかもしれない」と心配していました。

昔の人たちが苦勞して発展させてきた昼神温泉は今年で五十周年なのだと思います。五十年後も観光客がいっぱい来て、来てくれた人が満足して帰れる昼神温泉になってほしいです。



50年後の昼神温泉

浪合小学校6年 鈴山 真外

ぼくは、その時の最新技術を取り入れた、便利で快適ですごい昼神温泉がいいです。

その技術にもよるけど、具体的に何を取り入れてほしいか言うと、まず快適な温度を保てる温泉がいいです。熱かったりぬるかったりするときがあるから、一定の温度で保てるようにしてほしいです。

2つ目は自然を楽しめる温泉です。森の中で森林浴みたいなものをしながら、温泉に入るときれいな景色も見れるし、つかれがとれると思います。

3つ目は休けいするところを大きくすることです。そこでお店に売っている商品をロボットが運び、買ってもらうシステムです。せっかく来たのに休けいできずにおみやげも買わずに帰るのはもったいないので、そういうことを改善するということです。

4つ目は子どもが楽しめる温泉です。ふつう、温泉では静かにしていることがマナーだから、子どもはつまらないと思います。そんな時に親子で入れる温泉で、はしゃいでもいいようにすると、子どももまた行きたいとなるし、それでふつうの温泉でもゆっくり入れるいいシステムです。子ども温泉みたいな感じで、子どもは楽しいと思います。

5つ目は、全部空想で、空にうかぶ温泉です。今の技術じゃできないけど50年後ならできるかもしれないなと思っていました。また、移動する温泉もいいと思います。大きめの車に昼神温泉の湯をのせて、出張温泉みたいにすることです。そうすれば、なかなかここに来れない人も入れるし、いろんなところの人が昼神温泉を知ってもっとお客さんが増えると考えたからです。でもこれはおふろが小さいし、長い時間入れないと思います。それでも1人ずつとか1家族ずつとかにすると、貸切風呂になって、ゆっくり入れると思います。

こんな風に昼神温泉がもっと人気になって、この辺がにぎやかになるといいと思いました。



大好きな昼神温泉

清内路小学校4年 高見 柚葵

私は、保育園のころから、「湯ったりーな」という温泉施設で水泳を習っています。毎週月曜日に、友達みんなと一緒に、楽しく水泳をしています。水泳の後はお友達と温泉に入ります。水曜日、妹がプールの時は、お母さんと私と二歳の妹と三人で、温泉に入ります。私はろ天風呂にある、小さい石風呂が気持ちいいから好きです。温泉の後、家族みんなで、湯ったりーなにあるレストランでご飯を食べます。よく食べるのは、ハンバーグです。ハンバーグの味が、ご飯と合っていておいしいです。たまに、パパがソフトクリームを買ってくれます。すごくおいしいし、うれしいです。ママパパありがとう。

それ以外にも、昼神温泉には良いところがたくさんあります。一番良いと感じる所は、春や夏や秋や冬がしっかり感じられる所です。春にはさくらもあるけど、私は花桃が好きです。夏にはきれいな木々の緑葉が見えて、秋には赤色や黄色に色付いた紅葉がきれいでかわいくて、冬には雪がわんさか降ります。

そんな良い所ばかりの昼神温泉が、今年で五十周年になったみたいです。おめでとうございます。私は、そんな昼神温泉がさらに明るくて楽しくなる未来を五つ考えてみました。

一つ目は、お花がたくさん周りにあって、お風呂にもうかんでいるところです。いろいろな人に知らないお花を見てほしいです。

二つ目は、毎日クイズをしたり、楽しいイベントがあってほしいです。いろいろな人に、クイズを楽しくやってほしいです。

三つ目は、フワフワモコモコの泡風呂に入りたいです。きれいで、色のある泡風呂がいいです。

四つ目は、近くに楽しい、遊園地があってほしいです。他の人達に楽しく遊んでもらいたいです。

五つ目は、空飛ぶ露天風呂があってほしいです。夜空がきれいに見えるし、花火も大きくて近くで見えるからです。

最後に私は昼神温泉が大好きです。